

岩倉市五条川小学校区統合保育園 基本構想



令和5年2月

岩 倉 市

目 次

1	基本構想の背景と目的	1
2	検討すべき事項	2
3	アンケートから見る保育園及び子ども発達支援施設の現状	2
3-1	アンケートの実施状況	2
3-2	アンケート結果の概要	3
	【資料】アンケート調査結果の詳細	5
4	運営面と施設面に関する検討	13
4-1	整備及び運営の手法について	13
4-2	保育園と子ども発達支援施設との複合化について	15
5	ワークショップ	16
6	建設候補地	18
7	統合保育園の整備及び運営の方針	19
8	統合保育園ゾーニング（案）	21
	【参考資料】	22

1 基本構想の背景と目的

本市では、昭和 40 年代から 50 年代にかけての人口急増期に多くの公共施設等が建設されており、今後、施設の老朽化が進む中で、公共施設の管理方針や再配置における具体的な数値目標を設定するために平成 28 年度に「岩倉市公共施設等総合管理計画」を策定しました。

具体的な数値目標というのは、2056 年度までに公共建築物の延べ床面積を約 13%縮減するという目標となっています。この目標の達成に向けた具体的な道筋を示す個別計画として、平成 30 年度に「岩倉市公共施設再配置計画」（以下「再配置計画」という。）を策定し、市が保有する 58 の施設について、施設ごとに統合や廃止等の再配置の方向性と実施時期について示しました。

さらに、公立保育園については、岩倉市の保育を取り巻く環境や歴史的な経緯を踏まえ、かつ、子育て世帯の実態に即した再配置計画とするため、有識者や保育の関係者、保育園児の保護者等の意見を聞きながら「岩倉市公立保育園適正配置方針」（以下「適正配置方針」という。）を策定し、再配置計画に反映しました。

そして、この適正配置方針において、五条川小学校区内の岩倉北小学校区や岩倉東小学校区に近い場所に新たに用地を確保するという方針を示し、再配置計画において、令和 8 年度までに北部保育園と仙奈保育園を統合するとともに、仙奈保育園と敷地及び建物を共有する子ども発達支援施設あゆみの家についても統合後の保育園に複合化することを併せて検討するという計画としました。

この基本構想は、新しく保育園と子ども発達支援施設を統合した施設（以下「統合保育園」という。）の整備を進めるにあたり、事業手法や運営手法、施設の整備方針などを検討し、子どもたちにとって安全で安心な保育環境を確保し、豊かな自然や地域の人々とのつながりを通して子どもの育ちを支える施設とするため、「岩倉市五条川小学校区統合保育園基本構想」を策定します。

2 検討すべき事項

(1) 運営面

適正配置方針では、公立園と私立園に対する意識差の垣根を取り払い、公立園の役割を堅持しつつ、公立・私立の枠を超えての適正配置を進めるとしており、持続可能な保育サービスを提供する観点から民間活力の活用も候補の一つとして今後の保育所運営を検討するものです。

(2) 施設面

再配置計画では、仙奈保育園と敷地及び建物を共有するあゆみの家について、複合化を検討するとしているほか、地域における子育て支援の拠点施設として公立保育園が担ってきた、「特別な支援を要する子どもへの支援」、「子育て困難家庭への支援」、「公的機関との連携」に必要な施設についても検討をおこないます。

3 アンケートから見る保育園及び子ども発達支援施設の現状

3-1 アンケートの実施状況

令和4年9月に五条川小学校区統合保育園基本構想に関するアンケート調査を以下のように実施しました。

(1) 調査の目的

五条川小学校区統合保育園基本構想の策定にあたり、本市の保育園及び子ども発達支援施設の現状などを把握し、基本構想に反映させるため。

(2) 調査対象及び方法

岩倉市の公立保育園及びあゆみの家に通う園児の保護者 487 人並びにその保育士の 140 人で、直接アンケート用紙を配布・回収する方式で実施しました。

(3) 調査実施期間

調査実施期間は、令和4年9月16日(金)から令和4年9月30日(金)までの15日間としました。

(4) 回答者数及び回答率

保護者の回答者数は 391 人で、回答率は 80.3%でした。保育士の回答者数は 133 人で、回答率は 95%でした。

3-2 アンケート結果の概要

(1) 運営面

- ・日常の保育（療育）内容や職員の対応について満足であるという意見が多く、裸足保育や異年齢保育など公立保育園の運営に対する満足度は高く、保護者と保育士の関係性も良好であるといえます。
- ・発達、発育状況や子ども個人に応じた保育や療育が求められており、多様な子どもが保育を受けられる環境が望まれています。また、日頃の育児相談ができる機能を求める声が多く、個々の育児への関心が高いことがうかがえます。

(2) 施設面

- ・保護者と保育士の両者とも園庭などの屋外環境に対する満足度は高い一方で園の設備や安全性が足りていないとする意見が多く、施設を利用する人の満足度を向上させる必要があります。
- ・保護者から駐車場に関する意見が多くあり、送迎時の駐車場整備が求められています。また、保護者と保育士の両者からのびのびと遊べる屋外環境の整備が期待されているほか、保護者意見では、休日も利用できる屋外スペースへの関心が高いことも分かります。
- ・新しい保育園及び子ども発達支援施設では、保護者、保育士ともに植栽や天然素材を活かした、自然を身近に感じられるような配慮が必要であるとの意見が一番多くなりました。他にも快適な屋内環境であることやユニバーサルデザイン、維持管理のしやすさについても意見が多く集まっています。

(3) その他

アンケートでは、現在利用している保育園及び子ども発達支援施設で残していきたい良い点を自由記述としました。

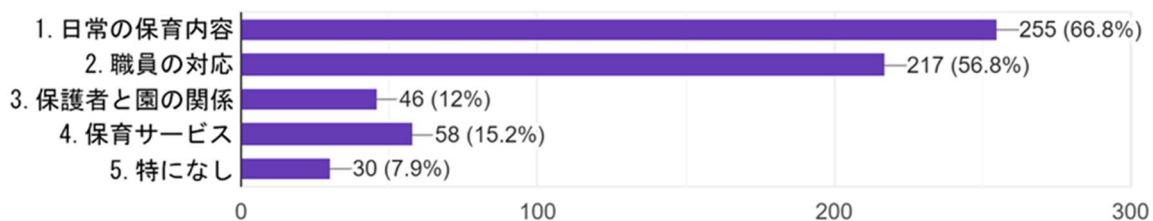
- ・シンボルツリーの移植
- ・大きな木と土山
- ・アットホーム
- ・近隣住民の近さ
- ・異年齢保育は良い刺激になる
- ・自然に触れあえる環境
- ・園内で作る給食、おやつ
- ・園の田畑作業、旬の野菜や花の栽培、動物の飼育
- ・鉄棒や跳び箱などの習得

- ・ 広い園庭（裸足で走り回れる芝生）
- ・ リズム体操 歌をたくさん歌う
- ・ 季節の行事や遊び（水遊び・プール／焼き芋大会）
- ・ 常設プール
- ・ 昔の遊び（竹馬／あやとりなど） 木製遊具
- ・ 工作物の素材が自由
- ・ 雨でも走り回れる広いホールや遊戯室、廊下
- ・ 子どもの主体性を尊重する保育
- ・ 職員の対応 子ども全員の顔を覚えている
- ・ 服装などのルールがあまりない
- ・ 幼児と乳児の遊び場が別々
- ・ 誕生日会、土曜日保育
- ・ 毎日通える場所
- ・ 保護者同士のコミュニティ、施設を卒業した後も集える場
- ・ 言語、作業療法が園で受けられる
- ・ 保健センター、保育園、学校などと連携している事

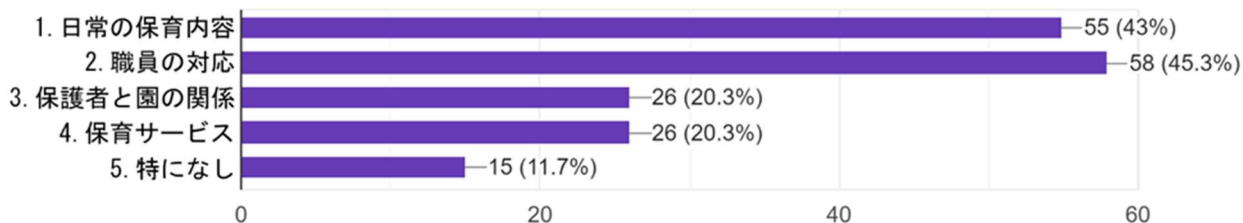
【資料】 アンケート調査結果の詳細

(1) 運営面で満足している点について

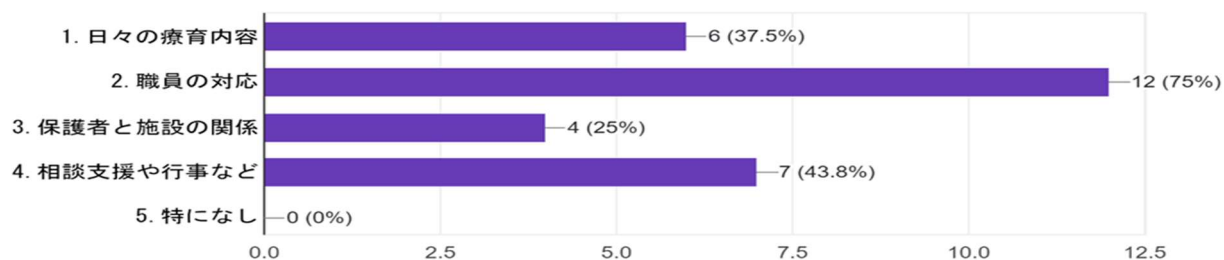
保育園保護者



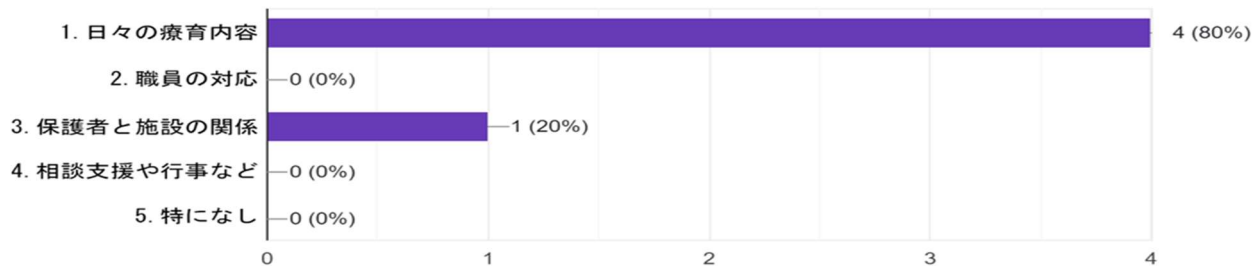
保育園保育士



あゆみの家保護者

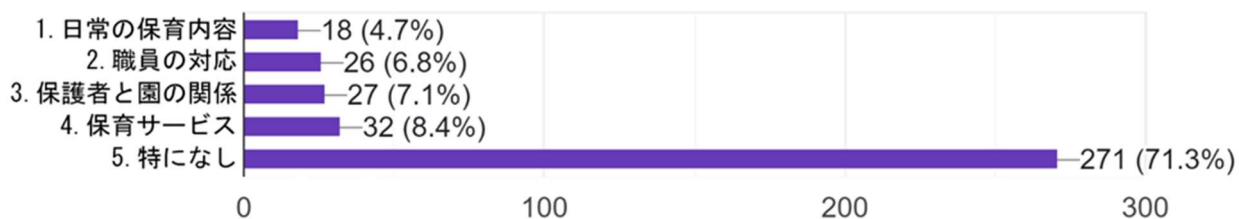


あゆみの家保育士

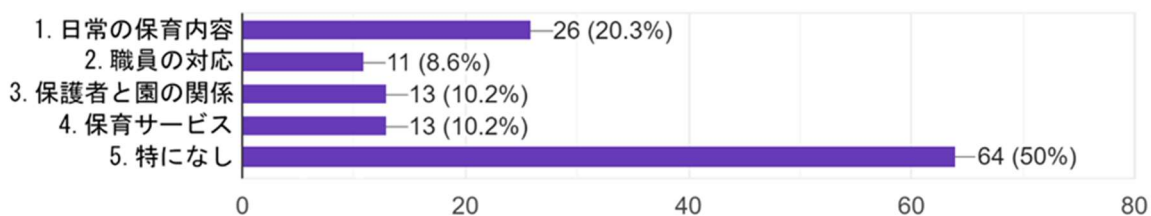


(2) 運営面で足りていない点について

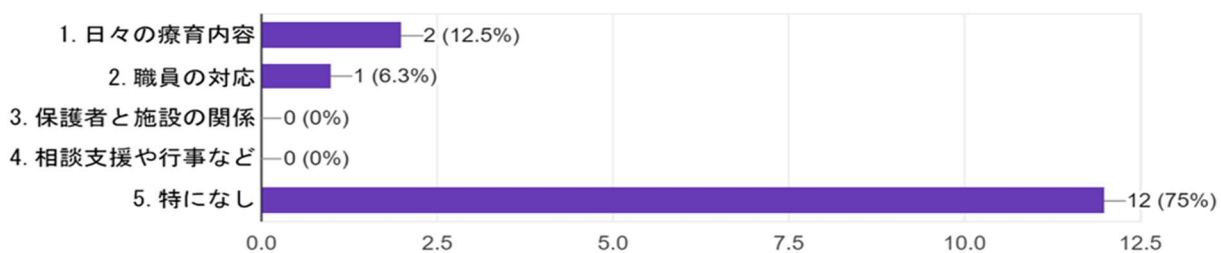
保育園保護者



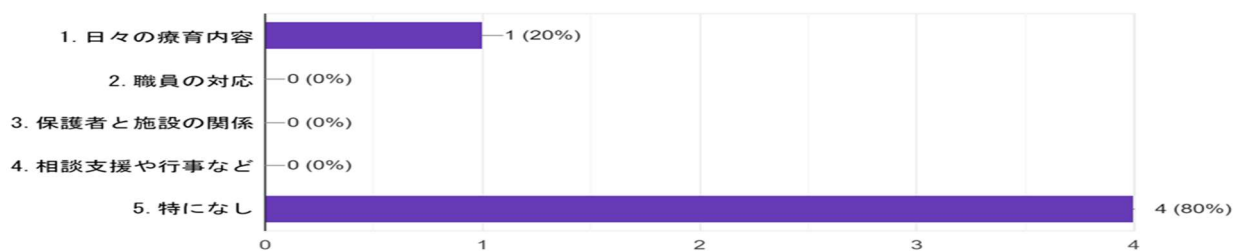
保育園保育士



あゆみの家保護者

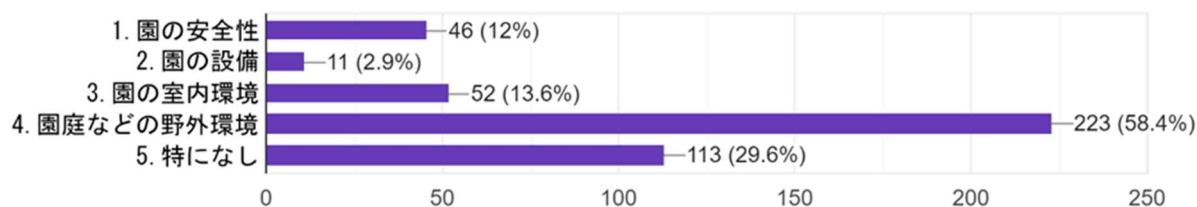


あゆみの家保育士

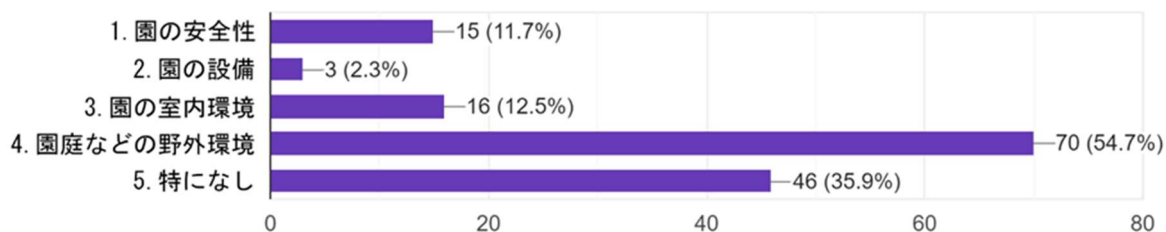


(3) 施設面で満足している点について

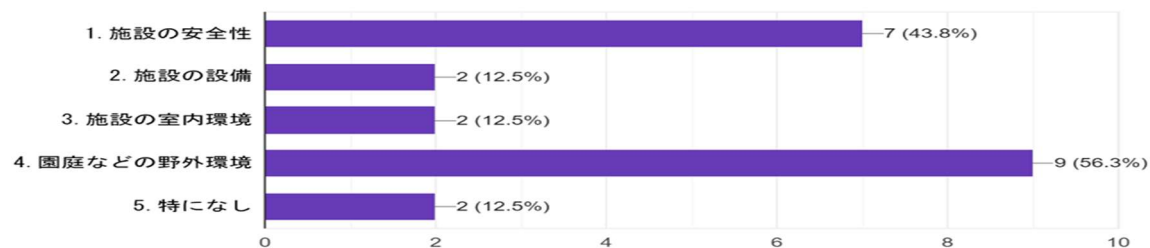
保育園保護者



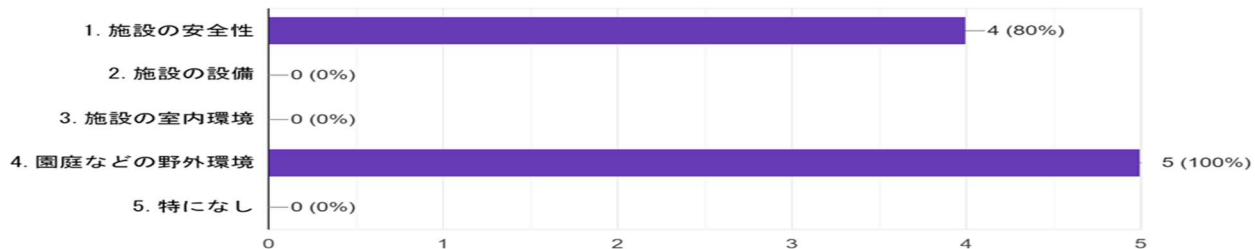
保育園保育士



あゆみの家保護者

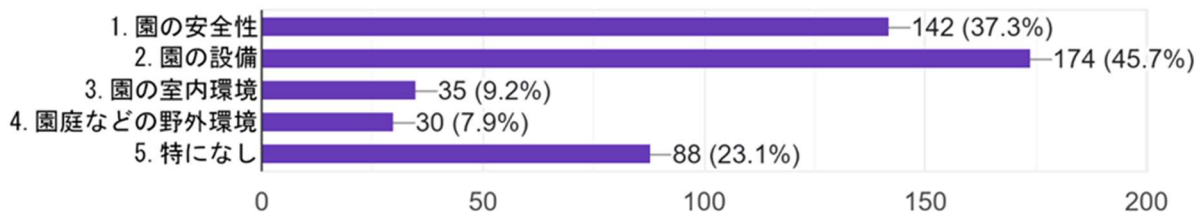


あゆみの家保育士

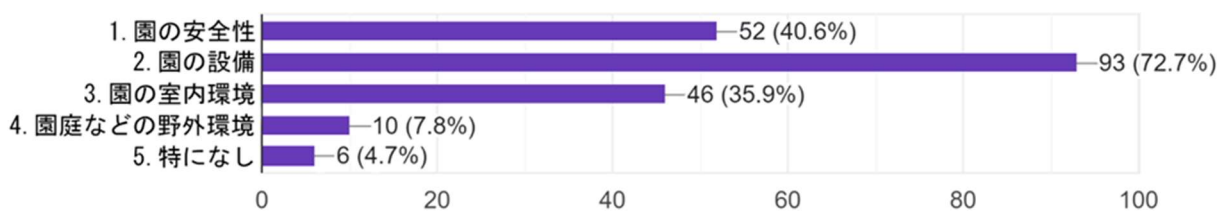


(4) 施設面で足りていない点について

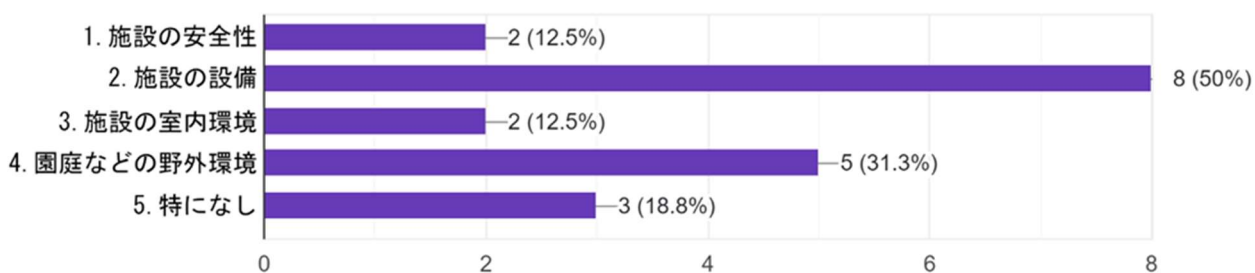
保育園保護者



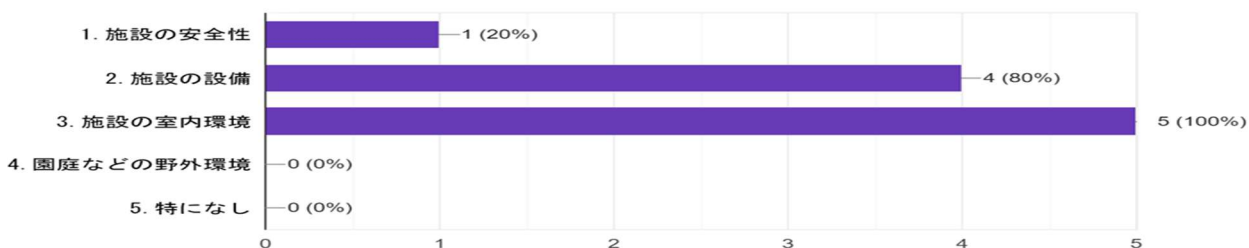
保育園保育士



あゆみの家保護者

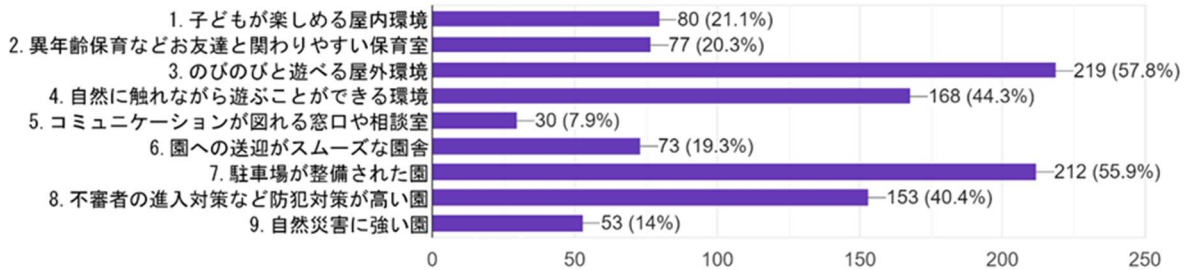


あゆみの家保育士

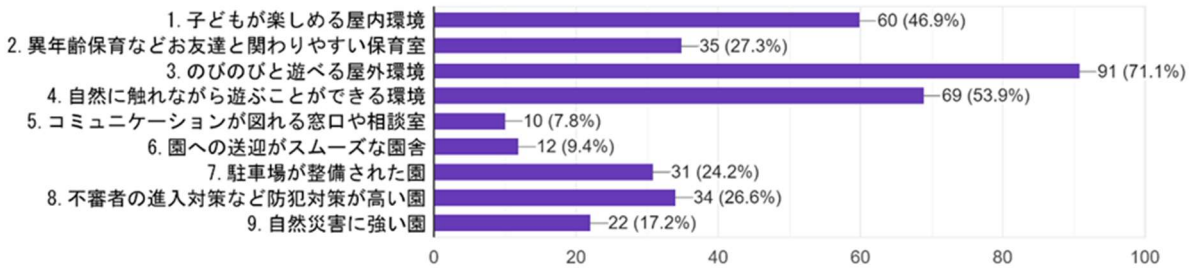


(5) 新しい保育園及び子ども発達支援施設に期待すること（施設面）について

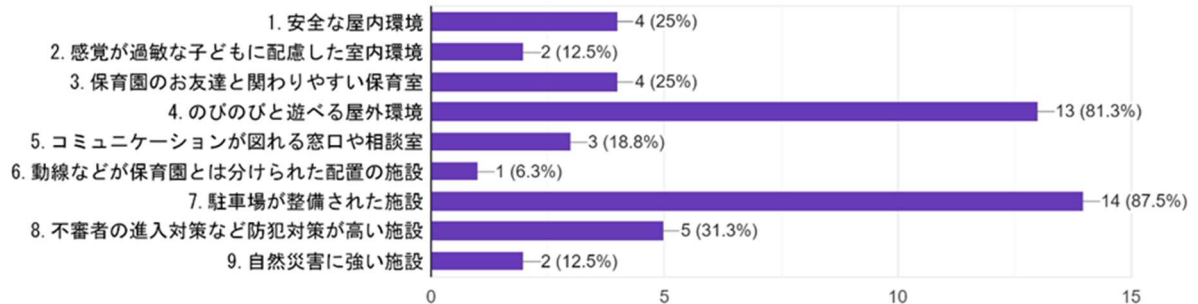
保育園保護者



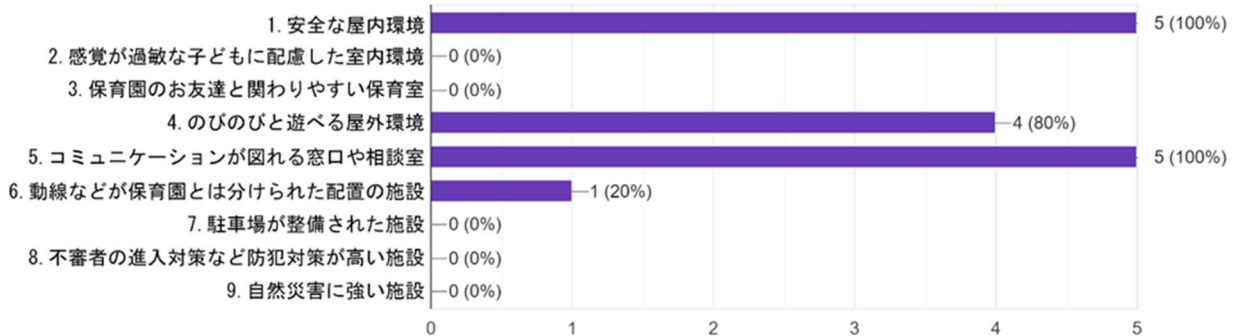
保育園保育士



あゆみの家保護者

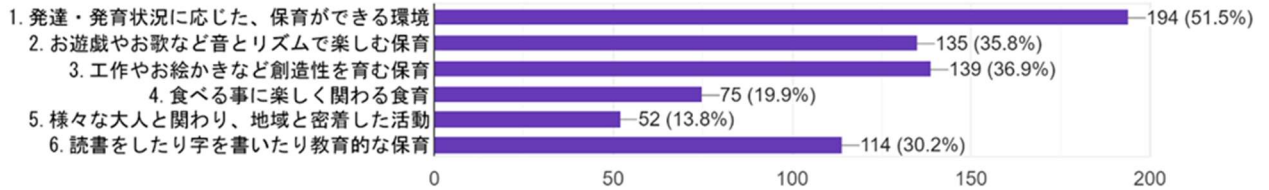


あゆみの家保育士

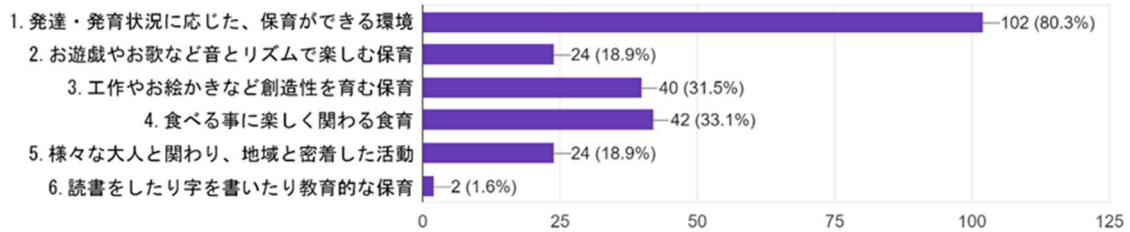


(6) 新しい保育園及び子ども発達支援施設でやれるといい保育（運営面）について

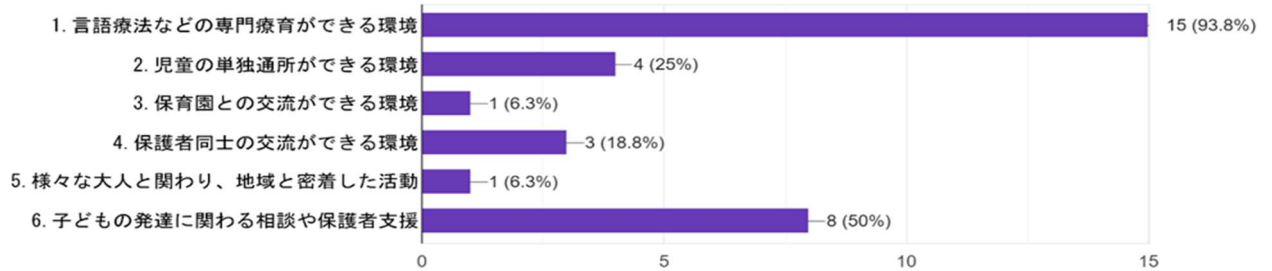
保育園保護者



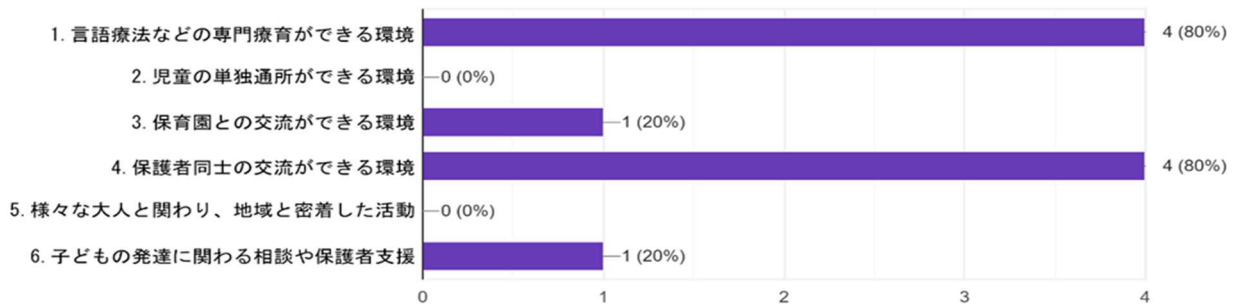
保育園保育士



あゆみの家保護者

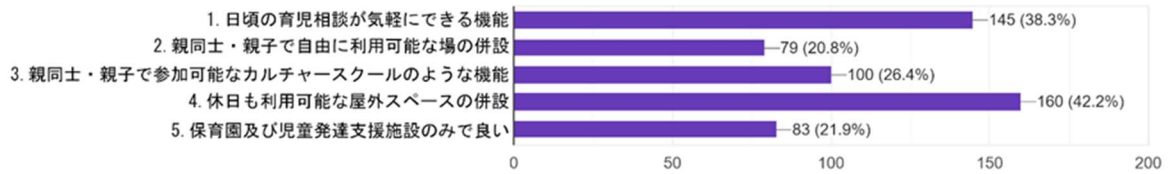


あゆみの家保育士

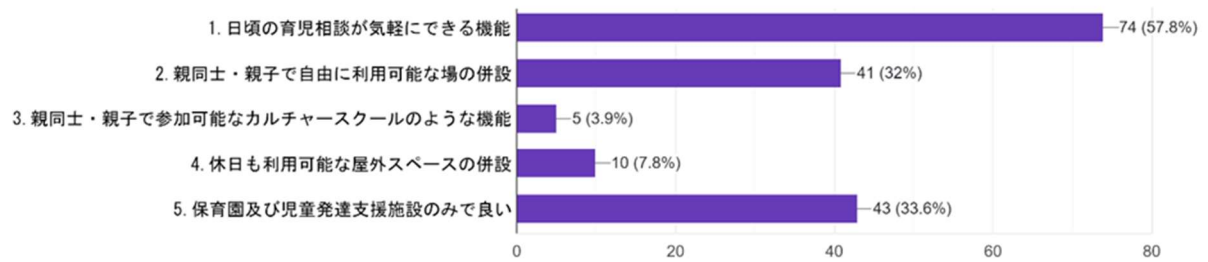


(7) 新しい保育園及び子ども発達支援施設の機能以外にあると良いと思う子育て支援機能について

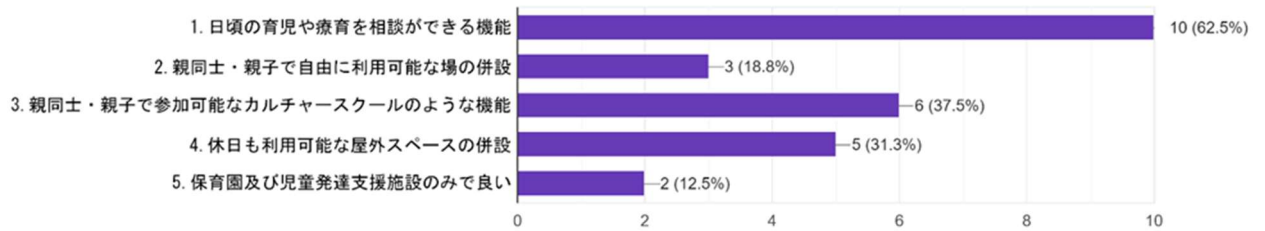
保育園保護者



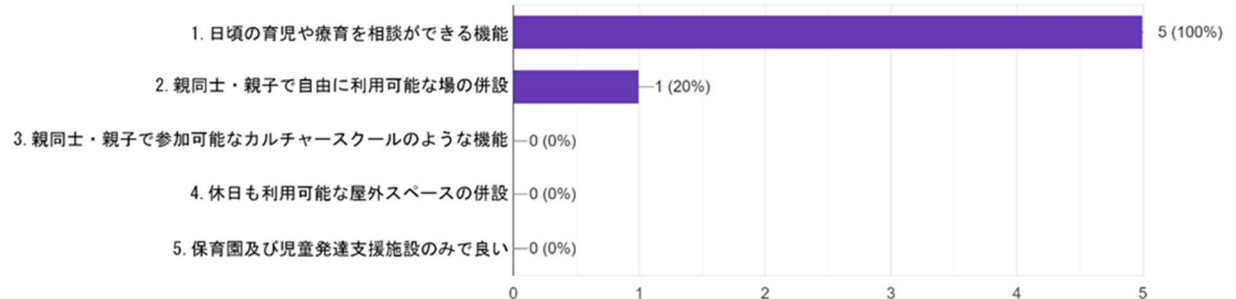
保育園保育士



あゆみの家保護者

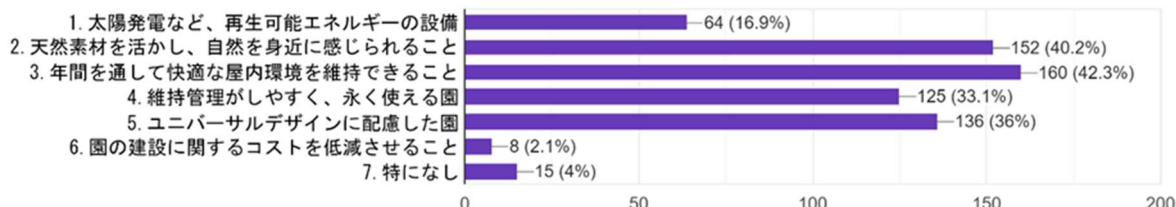


あゆみの家保育士

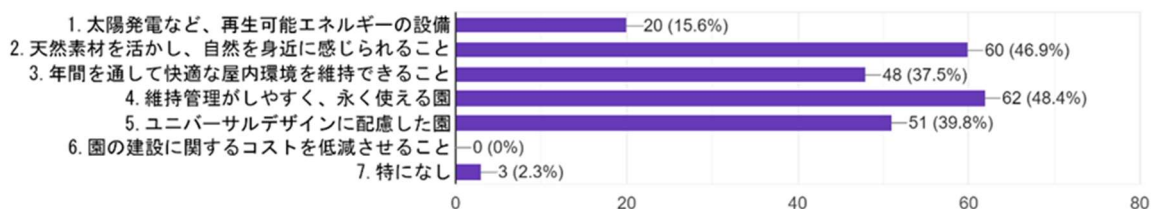


(8) 新しい保育園及び子ども発達支援施設で配慮されていると良い設備等について

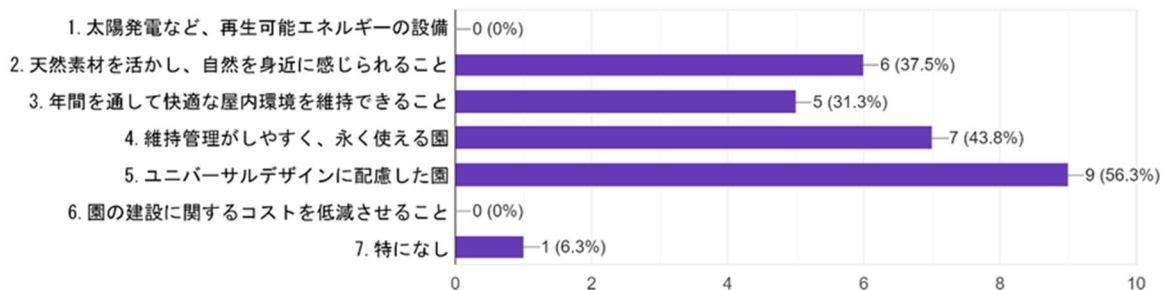
保育園保護者



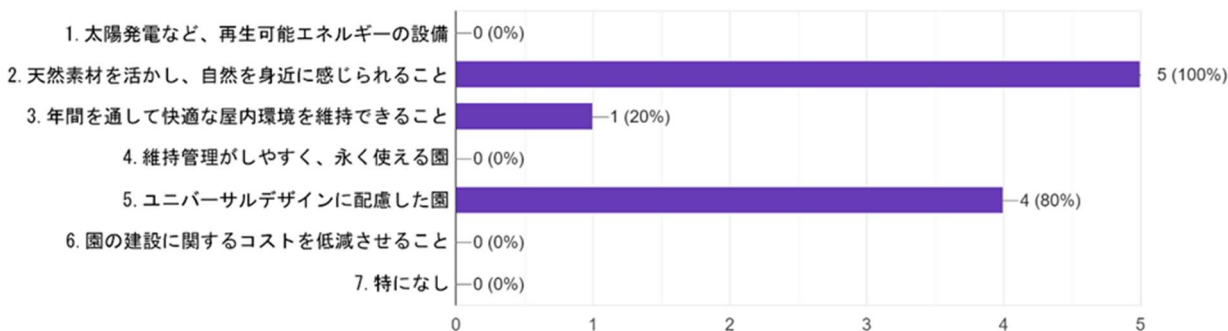
保育園保育士



あゆみの家保護者



あゆみの家保育士



4 運営面と施設面に関する検討

方針を検討するにあたっては、アンケート結果とあわせて、附属機関である岩倉市五条川小学校区統合保育園検討委員会で意見聴取を行いました。

4-1 整備及び運営の手法について

整備及び運営の手法には「公設公営」、「公設民営」、「民設民営」の大きく分けて3つの類型があり、民設民営は土地の提供（多くの場合は無償貸与）を自治体が行い、建設・運営は民間に移管する手法が一般的とされています。また、さらに細分化するとPFIや指定管理などの民間活用の手法もあります。それぞれの運営手法については、一般的に以下のような特徴が挙げられます。

○公設公営

- ・市が自ら建設／運営するため、これまでの岩倉市の保育を引き継ぎやすく、今後も保育方針や保育内容、また職員教育に市の方針が直接反映されたものになる。
- ・人事異動などで市が所管する関連部署との関係性が密接であり、同一組織内であるため連携も図りやすい。（例：支援児保育部門との連携など）
- ・建設費／運営費は全て市の負担となるため、将来にわたりコスト負担が必要となる。
- ・平均化／平準化という行政特有の価値観から、園ごとに個別の価値を見出すことよりも、保育指針に沿った一般的な保育内容（岩倉の保育）が維持される。

○公設民営

- ・園舎建設までは市によって行われるため、市の方針が反映された園舎になる。ただし、園舎建設については国の補助金を受けられない。
- ・運営を民間委託（あるいは指定管理）とする期限付きの委託契約は保育所運営（保育の継承）に課題が残る。また、その場合の運営主体はあくまで市であるため、国からの運営費補助を受けられない。
- ・運営を民間に移管する場合は国からの運営費補助を受けられる。
- ・運営を移管する場合、園舎は市の考え方で整備済のため、市が目指す保育のあり方や園舎活用の考え方に賛同する事業者の応募が必要となる。

○民設民営

- ・園舎建設及び運営には国の補助金を受けられ、市はそれぞれに補助金を支払う立場となる。

- ・一般的に民間法人は利用者の満足度を上げる意識が高く、園ごとの特色を生かした民間ノウハウの活用が期待できる。
- ・建設／運営は移管先の法人が行うことになるため、その法人の保育方針により運営されることになる。市の保育方針も踏まえた運営をしてもらうために、法人公募にあたり市が求める保育方針などを明確にして提示することも考えられる。

また、整備及び運営の手法によって、施設整備や運営にかかる費用を負担する主体や割合が下図のように変化します。

	保育所の利用調整	保育料の決定・徴収	園舎等の建物	職員採用・運営等	運営費負担	施設整備費
公設公営	岩倉市	岩倉市	岩倉市 所有・賃貸	岩倉市	岩倉市 利用者 【※注】	岩倉市
公設民営			事業者 所有・賃貸	事業者	国・県・市 利用者	国・市 事業者
民設民営						

※注：公設民営については「運営委託」「指定管理」などが考えられるが、一定期間で管理者が変わる手法は運営上の課題が残る。園舎建設後に運営を移管する手法も考えられ、その場合は運営費に国の補助を受けられる。

○検討委員会において出された意見

- ・民営化のメリットが財政面しか見られない。法人や園の特色があるよりも普通の保育園で良いと思う。保育内容の満足度も高く、安心して預けられる現状の保育内容を維持した保育園が良い。
- ・公立保育園父母の会のアンケートでも 62.9%が公立を希望しており、公立であれば支援児保育が維持される可能性も高いと考える。
- ・布団などの荷物を持つことなく手ぶらで預けられたり、おむつを捨ててもらえたり、習い事も実施してもらえたり、民間の良さは十分に理解しているが、移行した後にこれまでの保育が維持されるか不安である。
- ・支援児父母の会も公設公営を希望しており、保育園が完成した後、現状通っている子どもの保育がそのまま継続できるか不安である。あゆみの家との連携をこれまでどおり図ることができるのかわからない。
- ・保育士の人材確保を考えると、公立園の方が先生も産休確保など働きや

すいのではないか。

- ・民営化した場合、公営から体制が移行する期間が発生することで、保育園の中で引継ぎによる問題が発生してしまう可能性があり、たとえその期間が少なかったとしても、その期間内に入った子どもたちに影響が出てしまう。
- ・保育内容が良くなるのであれば民営でも良い。環境が良くなったり、建物がきれいになったり、習い事ができる機会が増えることは良いことだと思う。もっといい環境で子育てできるのであれば、民営でも良い。

4-2 保育園と子ども発達支援施設との複合化について

保育園と子ども発達支援施設との複合化について想定される課題や期待される点には以下のようなことが挙げられます。

- ・保育園と子ども発達支援施設をそれぞれ別の事業者とすることは、それぞれの事業の連携や協力体制、施設運営の効率性の点から現実的ではないため、同一の運営主体であることが望ましい。
- ・民間事業所は、それぞれの事業所で特徴的な療育を実施している。
- ・『あゆみの家』には、支援児を地域の児童発達支援事業所や関係機関とつなぐ役割のほか、事業所等の職員や支援者へのサポートも求められる。

○検討委員会で出された意見

- ・保育士アンケートの意見も適切に取り入れて頂きたい。
- ・肢体不自由の子どももいる為、階段のない段差の少ない園にしてほしい。手摺、エレベータを設置して欲しい。
- ・敏感な子どもに対して、落ち着ける部屋や静養室などを設けて欲しい。
- ・天然素材を使用して欲しい意見が多い事がアンケートで分かる。木質化など補助金を活用してはどうか。
- ・子どもや子育て世代に対しての福祉避難所となる園にしたい。
- ・雨の日に玄関が狭い為、靴を脱ぐのに濡れながら待つ場合がある。広い玄関スペースにして欲しい。
- ・嗅覚過敏の子どもがいる為、臭いが強い植栽は植えないで欲しい。
- ・プレイルームの一画に静養スペースがあっても良いのではないか。

○あゆみの家利用者へのヒアリングで出された意見

- ・今は散歩で岩倉東小学校が通うことができ、校庭も使わせてもらっている。今後も足腰を鍛えるような取り組みができるとうよい。

- ・部屋数が多くなく、子どもの突発的な動きに対応できるような部屋の作りがよい。
- ・園庭が欲しい。園庭の利用範囲に制限をつけるのであれば、単独で欲しいが、そういった制限がないのであれば、一緒でもよい。
- ・現在のあゆみの家は玄関が狭いので、あゆみの家に入りやすく、外へ飛び出しにくい構造だとよい。
- ・子どもに水を慣れさせる、経験させるという意味であゆみの家専用のプールが欲しい。

5 ワークショップ

新しい統合保育園の形を想像し、岩倉の保育で大切にしたいキーワードを出し合い、統合保育園にふさわしいキャッチコピーを創造することを目的として令和4年12月17日（土）に総合体育文化センター2階会議室・研修室にて「ワークショップ Imagine the 統合保育園」を開催しました。

○参加人数 10人

- ・参加者を、保育園の保護者やかつての保護者（Aグループ）、保育園の管理職経験者（Bグループ）、現役の保育士（Cグループ）という属性で3つのグループに分けワークショップを進めました。

○ワークショップで生み出されたキーワードとキャッチコピー

Aグループ 「愛され続けられる保育園」

- ・のびのびできる快適な園舎
水廻りの充実／きれいなトイレ／制作スペースがある
- ・地域とみんなとのつながり
地域の方が気軽に集える場所／見守りスペース／あゆみの家と交流しやすい／シンボルがある。
- ・園庭のびのび
裸足で過ごせる床・園庭／畑やたんぼを経験できる／木登りできる
- ・余裕のある保育ができる（先生にも余裕がある）
異年齢保育のしやすい保育室／自分であそびを選べる／先生がゆっくりできる休憩室
- ・駐車場、保護者負担を軽く
駐車場へのアクセスが安全である
安心安全を第一に、園舎内外で元気よく遊べるというキーワードの他、在園児の保護者だけでなく未就学児の保護者なども気軽に訪れられる場所に

したいという意見が交わされた。さらにはみんなのシンボルとなるような園舎がよいという意見も加わり「愛され続ける」というキャッチコピーが出された。

Bグループ 「つながる保育園」

- ・ 地域とつながる
カフェがある子育て支援スペース／地域の方が自由に入出りできる
- ・ 先生と園児、先生同士がつながる
全体を見渡せる／保育室間の間仕切りが無い／職員がきちんと休憩できる
- ・ 園舎がつながる
移動式の壁で多目的に利用できる／フリーに使える保育室がある／ランチルームがあって調理室が外から見える。あゆみの家とスムーズに交流
- ・ 外遊び
園庭を囲むような園舎／大きな土の山がある／あゆみの家の子も一緒に遊ぶ園庭

保育を円滑に進められる園舎というイメージが共有され「目が届く」「互いの動きが見える」というキーワードから、それは管理運営だけでなく充実したコミュニケーションにもつながるのではないかという議論がされた。新しい保育園は「先生と園児先生同士／先生と保護者」など様々な関りの生まれる園舎にしたいという思いから「つながる園舎」となった。

Cグループ 「“まいにち” “いつでもどこでも” わくわくできる保育園」

- ・ 全身で遊べる外空間
広い園庭／土山など自然なものでできた遊び場／シンボルツリーや実なる木
- ・ 充実した水廻り
各保育室にトイレ／各保育室に手洗がある／幼児用シャワーやお湯がでるように
- ・ 保育室
遊びのコーナー分けができる／こどもの隠れ家がある／午睡室が欲しい／収納スペース
- ・ その他
内部の廊下（寒くなくて遊べる）／木の温かい雰囲気／部屋からすぐに園庭に出られる

外遊びの環境が充実しているという点を柱に議論が進んでいた。ここでいう外遊びとは全身で自然と接してどろんこで遊ぶという意味であり、そのためにもシャワーやお湯など後始末がしやすいように水廻りが充実している必要があるという意見であった。

園舎内においては様々なコーナーが設えられる作りがよいなど、多様な遊びを通してワクワクできる保育園が良いという議論から「わくわくできる」というキャッチコピーがつけられた。

6 建設候補地

(1) 建設候補地域について

五条川小学校区は、八劔町、井上町、神野町、石仏町の4行政区からなっています。

この4行政区のなかで、既存の建物が少なく保育園を建設できる余地があると見込まれる地域として八劔町内、井上町内、石仏町内の3つの地域を設定し検討した結果、井上町内を建設候補地域に選定しました。

(2) 建設候補地の位置

建設候補地の選定に当たっては、補償対象となるような建築物や工作物が少なく、十分な駐車場を整備しつつ、建築に必要と思われる面積（約3,700㎡）を確保できる土地を基準に選定し、井上町内で下図の位置としました。

現在、用地の取得について土地所有者と調整をしている段階であり確定ではありませんが、本基本構想においてはこの位置と仮定して検討することとします。

【建設候補地位置図】



7 統合保育園の整備及び運営の方針

多くの保護者や保育士、有識者の意見を反映した結果、方針は以下のとおりとします。

(1) 整備及び運営の手法

アンケートの結果から、保護者、保育士の両者において現在の保育や療育の内容への満足度が非常に高く、現在の公立保育園及び子ども発達支援施設に対して一定の評価がされています。

また、検討委員会においても、保護者の利便性を向上させるサービスや特色のある保育という民営の良さを理解しつつも、これまで岩倉で培われてきた保育を尊重し、現在の保育や療育の内容を維持して欲しいという意見が多く出されました。これらの意見を踏まえ、統合保育園の整備及び運営の手法を公設公営で実施することを基本とします。

(2) 子どもたちそれぞれの発達に応じた育ちを支える施設

公立保育園では、乳児保育や支援児保育、医療的ケア児の保育など、多様な保育ニーズに対応しつつ、子どもたちの社会性や協調性を育み、生きる力の土台づくりを目的として、3～5歳の子どもたちが同じクラスで一緒に生活や遊びをする異年齢保育を実施しています。

アンケートの結果においても、保育園では発達・発育状況に応じた保育ができる環境への期待が、あゆみの家では言語療法などの専門療育ができる環境への期待が高くなっています。

静かで落ちつける小スペースや配慮が必要な子どものための支援のスペースの確保や子どもの動線を考慮した部屋や園庭等の設備の配置など子どもたちそれぞれの発達に応じた保育や療育が行える施設とします。

(3) 自然とふれあいのびのびと遊べる環境がある施設

アンケートの結果から、保護者、保育士の両者からのびのびと遊べる園庭や自然を感じられる屋外環境、天然素材を使った施設を望む声が多くありました。四季に応じた自然の移りかわりを肌で感じ、ふれあいながらのびのびと遊ぶことができるよう、屋外環境や自然環境の整備や天然素材を生かした施設整備を進めます。

(4) 安全で安心して利用できる施設

アンケートの結果から、施設の設備の充実と合わせて安全性の強化を求める声も多く上がっています。

セキュリティ面の強化を図りつつ閉鎖的になりすぎないように、必要な設備の設置や防犯対策について十分配慮された施設とします。

あゆみの家で行ったヒアリングでは、子どもの突発的な動きに対応できるような部屋の作りや十分な広さがあり施設に入りやすい一方で飛び出しにくい構造の玄関を求める意見もあることから、子どもの動線を考慮した部屋や設備の配置とするなど安全で安心して利用でき、ユニバーサルデザインを取り入れた施設とします。

また、必要な規模にあわせた駐車場の整備を行い、敷地内の通路や道路との接続についても検討し送迎時の安全を確保します。

(5) 家庭や地域とつながり愛される施設

これまでも公立保育園は、地域における子育て支援の拠点として「特別な支援を要する子どもへの支援」、「子育て困難家庭への支援」、「公的機関との連携」などの役割を担ってきました。

ワークショップでは、「地域の人たちから愛され続けられる」、「園の外の環境ともつながる」といったキーワードが出され、引き続き保育園には家庭と手を取り合いながら、地域の状況を知り、子育てを通して家庭と地域をつなぐ役割が求められています。

育児相談など、育児に関する様々な悩みを持つ保護者に寄り添い、保護者に愛される施設を目指すとともに、ちびっこクラブなどの地域活動を通じて保育園運営に対する地域の理解を進め、地域からも愛される施設を目指します。

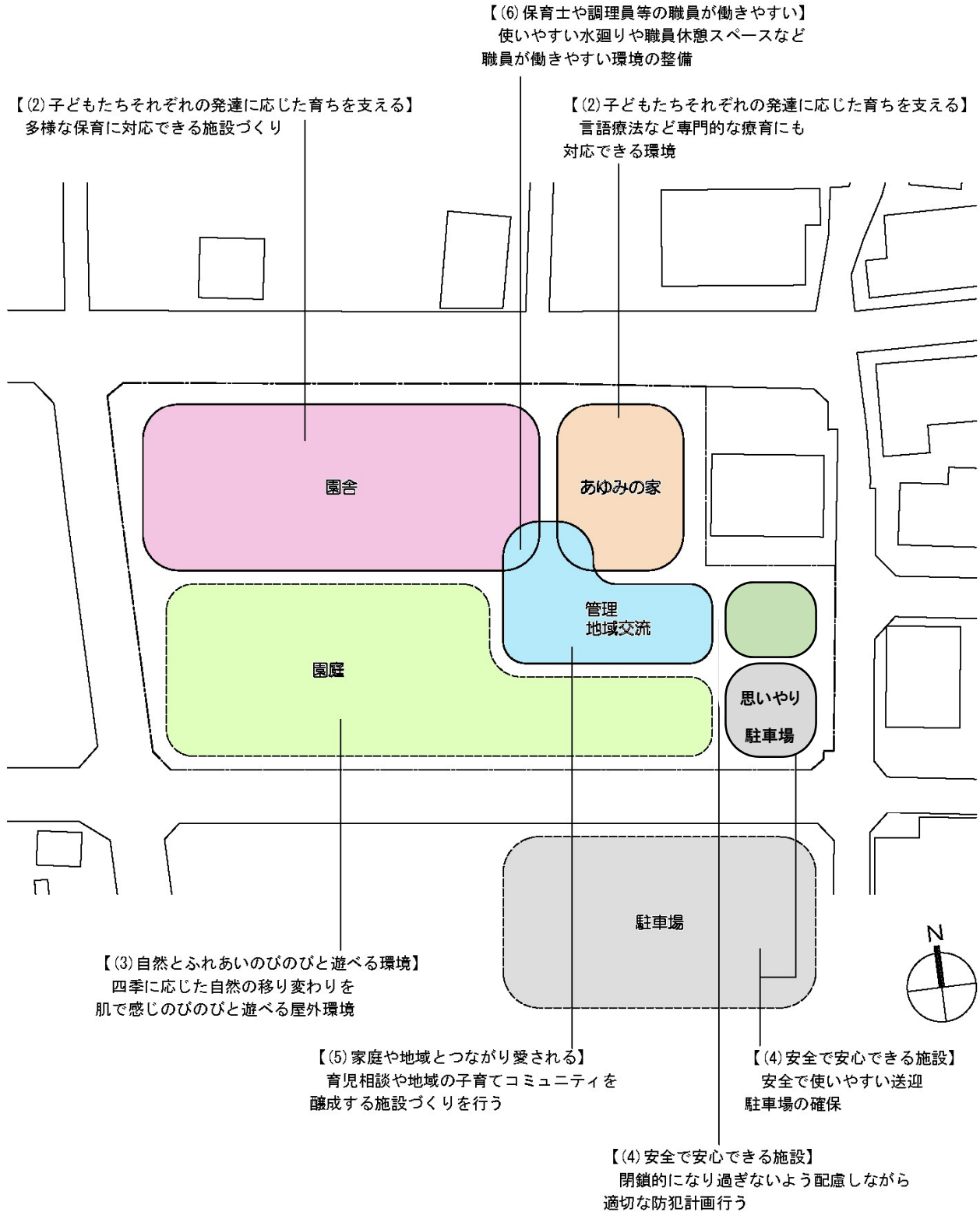
(6) 保育士や調理員等の職員が働きやすい施設

アンケートの結果では、保護者、保育士の両方で設備についての満足度が低い回答となっています。特に保育士からは休息できるスペースの確保を求める声が挙げられており、また、ワークショップでは、保育園で働く保育士や調理員の負担軽減や、職員の働きやすい施設を望む意見がありました。

保育士や調理員等も施設や設備の検討に参加することで、職員が働きやすい施設づくりを行います。

8 統合保育園ゾーニング（案）

※基本構想におけるゾーニング（案）であるため、実際の設計とは異なる場合があります。



【参考資料】

(1) 「岩倉市五条川小学校区統合保育園検討委員会」について

岩倉市五条川小学校区統合保育園検討委員会条例

(趣旨)

第1条 この条例は、五条川小学校区統合保育園の基本構想(以下「基本構想」という。)を策定するための検討を行う岩倉市五条川小学校区統合保育園検討委員会(以下「委員会」という。)の設置、組織及び運営に関する事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 地方自治法(昭和22年法律第67号)第138条の4第3項の規定に基づく市長の附属機関として、委員会を置く。

(所掌事項)

第3条 委員会は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 基本構想に盛り込むべき項目及び内容の検討に関すること。
- (2) 基本構想の素案の策定に関すること。

(組織)

第4条 委員会は、委員18人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 識見を有する者
- (2) 子どもの保護者
- (3) 私立の幼稚園、認定こども園等の代表者
- (4) 市民の代表者
- (5) 市の指導保育士並びに岩倉市保育園及び岩倉市子ども発達支援施設の保育士

(任期)

第5条 委員の任期は、第3条の事項が終了するまでとする。

(委員長及び副委員長)

第6条 委員会に委員長及び副委員長1人を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第7条 委員会の会議は、必要に応じて委員長が招集する。

- 2 委員会の会議は、委員の半数以上の出席がなければ開くことができない。
- 3 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。
- 4 委員長は、必要があると認めるときは、委員会の会議に委員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、教育委員会教育こども未来部子育て支援課において処理する。

(雑則)

第9条 この条例に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この条例は、令和4年4月1日から施行する。

◆開催概要

会議等	日 時	内 容
第 1 回	令和 4 年 8 月 31 日(水) 9:30 ~12:00	<ul style="list-style-type: none"> ・本検討委員会の流れについて ・岩倉市五条川小学校区統合保育園に関するアンケート（案）について
第 2 回	令和 4 年 11 月 11 日(金) 10:00 ~12:00	<ul style="list-style-type: none"> ・統合保育園及び子ども発達支援施設の基本構想策定に関するアンケートの結果について ・基本構想の素案を作成するための重点項目（施設面・運営面）について ・ワークショップについて ・建設候補地について
ワーク ショップ	令和 4 年 12 月 17 日(土) 10:00 ~12:00	「Imagine the 統合保育園」
第 3 回	令和 5 年 1 月 6 日(金) 9:30 ~12:00	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ「Imagine the 統合保育園」の結果報告について ・岩倉市五条川小学校区統合保育園基本構想（案）について
保育士 向け 説明会	令和 5 年 2 月 1 日(水) 18:00 ~19:00	<ul style="list-style-type: none"> ・最近の保育園の建設事例紹介について
第 4 回	令和 5 年 2 月 21 日(火) 9:30 ~12:00	<ul style="list-style-type: none"> ・最近の保育園の建設事例紹介について ・岩倉市五条川小学校区統合保育園基本構想（案）に関するパブリックコメントの結果報告について ・岩倉市五条川小学校区統合保育園基本構想（案）について

◆委員

職名	氏名	所属
委員長	鎌倉 博	名古屋芸術大学 教育学部 教授
副委員長	瀬野 由衣	愛知県立大学 教育福祉学部 准教授
委員	梶原 知美	こどもの保護者
委員	川端 恵理子	こどもの保護者
委員	大橋 美佳	こどもの保護者
委員	植手 麻未	こどもの保護者
委員	青木 愛	こどもの保護者
委員	井浪 真奈美	こどもの保護者
委員	岸野 奈津美	こどもの保護者
委員	町田 竜介	岩倉幼稚園 園長
委員	中島 正資	認定こども園ゆうか幼稚園 園長
委員	廣中 大雄	こどもの森保育園 園長
委員	鈴木 奈々	公募委員
委員	八木 直美	公募委員
委員	成田 貴子	公募委員
委員	野田 克枝	指導保育士
委員	長谷川 知子	北部保育園園長
委員	奥田 慶子	あゆみの家所長

◆事務局

教育こども未来部子育て支援課

(2) ワークショップ 「Imagine the 統合保育園」

◆実施目的

新しい統合保育園の形を想像し、岩倉の保育で大切にしたいキーワードを出し合い、統合保育園にふさわしいキャッチコピーを創造する。

◆ワークショップ内容

- ・ 近年に作られた他市町村の保育園等の事例を紹介
- ・ 3グループに分かれ、岩倉市の保育で大切にしたいもの、ことについて意見を出し合う。
- ・ グループごとに出された意見を分類し、キーワードに落とし込み、統合保育園のキャッチコピーを作り上げる。
- ・ 各グループの代表者が発表し、参加者同士で共有する。

◆発表内容

Aグループ 「愛され続けられる保育園」



(3) 保育士への最近の保育園の建設事例についての説明会

◆開催概要

- ・と き 令和5年2月1日(水)午後6時から午後7時まで
- ・と ころ 岩倉市役所7階 大会議室
- ・実施目的 統合保育園の建設にあたり、最近の保育園の施設を知ってもらうことで、今後の保育園の設計等に保育士の意見をより良く反映させることを目的とする。
- ・参加者 岩倉市内の公立園に勤める保育士 40人

(4) パブリックコメント実施結果

◆意見の募集期間

令和5年1月16日(月)～令和5年2月15日(水)(31日間)

◆意見を提出できる人

- ・市内に在住、在勤又は在学の人
- ・市内で事業や活動を行う個人または団体

◆閲覧場所

情報サロン、子育て支援課、市ホームページ

◆意見の提出方法

持参、郵送、ファクシミリ、電子メール、ホームページ投稿フォーム

◆募集結果

意見者数 20件(個人:19人、団体:1団体)

「岩倉市五条川小学校区統合保育園基本構想（案）」に対するご意見と市の考え方（対応一覧）

No.	意見の内容	市の考え方
1	五条川小学校学区に住んでいます。 踏み切りを渡っての通学になるため改善があると安心して送り出せます。	保育園の送迎は、原則保護者による送迎であるため、子どものみの登園や保育士による送迎は想定しておりませんが、まちづくりに関するご意見として、担当する課にお伝えします。
2	ある市議会議員がフェースブックに、井上地区で決定と書いており、用地買収も進行中らしいと噂にある現状 着々とすすんでいるのに、今更 ガス抜きのようなパブリックコメントなど実施しても意味がないのでは無いですか。	基本構想（案）は、今後建設する五条川小学校区統合保育園に盛り込むべき要素をまとめたものです。 多くの方の意見をいただき、新しく建設する保育園をより良いものとするため、パブリックコメントを実施したものです。
3	事前アンケートの回答率が高く、保護者、保育士等対象者の保育に関する重要度が分かります。 私は、統合保育園に反対の立場ですが今後の保育堅持のためには「公設公営」堅持を進めて下さい。 太陽発電、風力発電等の再生可能エネルギー設備の取組を進めるべきである。	基本構想（案）の19ページにありますとおり、整備及び運営の手法につきましては公設公営を基本として進めていきます。 再生可能エネルギー設備の設置につきましては、地球環境に配慮した施設となるよう、今後の設計の中で、検討していきたいと考えています。
4	現在北部保育園に通園している子を持つ保護者として、新たな園に求められる要素を様々な視点から検討いただき、望まれる形に着地されたことに安堵しています。 新園予定地は井上児童遊園や神社も近く、足を延ばせば夢さくら公園があったり、自然に多く触れ合う機会を得られることと思います。 また、両親共に電車通勤の身としては、石仏駅から徒歩圏内であることに大変安堵しております。 これから土地確保の交渉や具体的な園設備	基本構想（案）については、五条川小学校区統合保育園検討委員会や保護者及び保育士に対するアンケートなど、できるだけ多くの方のご意見をいただきながら作成しました。 ご意見を参考にして、今後の進捗状況の公開等について検討していきたいと考えています。

	<p>の検討など、新園開園までには様々な検討事項があるかと思いますが、子供達が健やかに楽しく過ごせ、先生方がやりがいと相応の報酬を得ながら働きやすい園の実現を望みます。</p> <p>また今後も、進捗について公開いただいたり、パブリックコメントの募集をぜひ継続いただきたいと思います。</p>	
5	<p>子供が市内保育園を利用しています。二年前に近隣市から転園しました。岩倉の保育園について、良い点もありますが改善していただきたい点があったため、こちらに投稿させていただきます。</p> <p>①入口の開閉がしにくく、子供を連れてだと危険 早朝、遅い時間でもオートロックでなく、誰でも入ってこれる</p> <p>②入口付近の歩道が整備されておらず、車も多く危険</p> <p>③職員の駐車場は目の前にあるのに、保護者の駐車場がないのに驚きました（父母会で、借りている現状）</p> <p>④駐輪場に、屋根がない（駐輪場がない保育園もありますよね）</p> <p>⑤乳児クラスが、二階で、送迎が大変だし、地震や火事の時避難が、心配</p> <p>今までの保育園、幼稚園は年中以降が、上の階でした。</p> <p>⑥瓦版や、配布物や、集金の際の IT 化</p> <p>以上の点が新しい保育園で生かされればと思い、意見させていただきました。</p> <p>園庭で裸足で遊んだり、野菜作ったり、虫を取ったりして、良い経験をさせてもらってます。</p> <p>良い点は生かしつつ、更に良い環境が配備されることを期待します。</p>	<p>検討委員会や保護者向けのアンケートの意見においても安全・安心面に関するものが多くありました。</p> <p>ご意見にあります園の入口や乳児クラスの配置等につきましては、今後の設計の中で、検討していきたいと考えています。</p> <p>保護者用の駐車場につきましても、アンケート意見等を踏まえ、必要な台数を整備していきます。</p> <p>職員用の駐車場につきましては、職員が個人で契約しているものです。</p> <p>瓦版や配布物等の IT 化につきましては、保育士の意見も聞きながら、今後検討させていただきます。</p>
6	<p>1 総括的にみて非常に明確な計画であり、</p>	<p>基本構想（案）については、五条川小</p>

	<p>特段の修正意見等はありません。</p> <p>2 本統合保育園計画の検討プロセスとして、①保護者・保育士へのアンケート②検討委員会による議論③保護者によるワークショップ実施の3ステップを構成し、②と③は①の結果を確認・共有されて行われているため、確度の高い議論が展開されていると感じました。</p> <p>3 整備・運営の手法は公設公営が妥当と考えます。</p> <p>4「あゆみの家」に関しては、園庭に接近するレイアウトが望ましいことと、開設後は保育園児に要支援児への理解と思いやりを培わせるような運営を望みます。</p>	<p>学校区統合保育園検討委員会や保護者及び保育士に対するアンケートなど、できるだけ多くの方のご意見をいただきながら作成しました。</p> <p>基本構想（案）の19ページにありますとおり、整備及び運営の手法につきましては公設公営を基本として進めていきます。</p> <p>ご意見にありますあゆみの家のレイアウトにつきましては、今後の設計の中で、検討していきたいと考えています。</p> <p>要支援児への理解と思いやりを培わせるような運営につきましては、保護者や保育士の意見も聞きながら、今後検討させていただきます。</p>
7	<p>「統合保育園基本構想」の策定にあたり、各園保護者会会長、保育園園長、幼稚園園長、あゆみの家の園長、一般公募の方、専門家、市役所担当者等が集まり、利用者にとってより良い保育施設となるよう検討会が開かれたことはとても良い事と思います。近隣市町ではトップダウン型が多く住民の意見が反映されず納得のいくものではないと聞きます。又、統合保育園の整備、運営を公設公営で実施するとの決定はとても嬉しいです。</p> <p>統合保育園ゾーニング案についての意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯カメラの設置、通用門（避難口として複数）等の防犯対策を考え工夫する ・温暖化対策を進めるうえでもソーラー発電と蓄電池が良い ・各保育室冷暖房設備、乳児室（0歳児）の床暖房必要（床に近い） ・プール（温水シャワー付き）と砂場（紫 	<p>基本構想（案）については、五条川小学校区統合保育園検討委員会や保護者及び保育士に対するアンケートなど、できるだけ多くの方のご意見をいただきながら作成しました。</p> <p>基本構想（案）の19ページにありますとおり、整備及び運営の手法につきましては公設公営を基本として進めていきます。</p> <p>ゾーニング案に対する意見につきまして、基本構想（案）は、今後建設する五条川小学校区統合保育園に盛り込むべき要素をまとめたものです。建物の詳細や設備につきましては、保護者や保育士の意見も聞きながら今後の設計の中で、検討していきたいと考えています。</p> <p>再生可能エネルギー設備の設置につきましては、地球環境に配慮した施設</p>

<p>外線対策も含めた遮光ネットや植樹、パーゴラ必要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者支援等多目的に利用できる相談室 (あゆみの家と共有) ・ 保育士や調理員の休憩室及び更衣室。男性保育士の更衣室必要 ・ 障がい者用トイレ必要 (健常者も利用する) ・ 園庭を広く利用できるよう遊戯室及び年長児の保育室やプールを二階にする等の工夫 ・ 園内で保育士と園児が日常生活を快適に過ごせるよう設計段階で保育士と十分検討してください。(保護者意見も聞きながら) ・ 新園舎完成後は利用保護者が増加する可能性大です。環境変化や生活様式の変化を考慮し、将来を見越した計画をお願いします。 ・ 園舎北側の道路は交通量がとても多い。又、仙奈保育園方面からの送迎は車になる方多いと考え駐車場は 30 台分程必要と思う ・ 交通安全上、保育園利用者は一方通行が良いと思う。 ・ 園舎周辺の側溝に蓋をして事故のないようにして欲しい ・ 災害時の避難所として利用することを考え土盛りが必要 ・ 園児の発熱、怪我等への対応として (救急車要請でない場合の) 職員の駐車場は園に近い場所に確保の必要有 	<p>となるよう、今後の設計の中で、検討していきたいと考えています。</p> <p>プール遊びにつきましては、水の感触を楽しむことが子どもの発達に大切なことであると考えているため、プールの設置方法等については、今後の設計の中で検討していきたいと考えています。</p> <p>検討委員会や保護者向けのアンケートの意見においても安全・安心面に関するものが多くありました。保護者用の駐車場については、アンケート意見を踏まえながら、必要な台数が確保できるように進めるとともに、周辺の道路や災害対策については、ご意見を参考にまちづくりを担当する課と検討していきたいと考えています。</p> <p>園児の発熱、怪我等の対応として職員の駐車場を園の近くに確保するというご意見につきましては、園児が急な怪我等で救急車を要請するほどではない場合、タクシーによる対応を行っており、職員個人の車は使用しておりません。</p>
<p>8</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ あゆみの家の園庭を個別にしてほしい。理由として、保育園の園児側からは、あゆみの家は親と子が一緒に園庭で遊ぶためその様子を毎日見ることにより園児たちが羨ましくなったり、朝離れらなくなる可能性 	<p>あゆみの家の園庭など建物の詳細や設備につきましては、保護者や保育士の意見も聞きながら今後の設計の中で、検討していきたいと考えています。</p> <p>保育園のWi-Fi環境の整備やICT化、</p>

	<p>が考えられるため。</p> <p>あゆみの家側からは、保育園の園児を怪我させてしまう心配、子供の人数が増えることにより自分の子供を十分に見ることが困難になる不安があり伸び伸びと園庭で遊ばせれなくなる可能性が考えられるため。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Wi-Fi 環境や ICT 化の導入を検討してほしい。 ・お昼寝用のコットを導入し、収納できるスペースを作ってほしい。 ・基本構想案の中の、「8 統合保育園ゾーニング（案）」でプールの記載がないが、プールを作る計画はあるのか。水遊びやプール遊びは子どもたちにとって貴重な経験であるので、プールは園内に作ってほしい。 ・園南側の道路は現在小学生の通学路になっていると思う。送迎時の安全を確保するために歩道と車道を分けるようにしてほしい。 ・冬場でも子どもたちが手洗いをしっかり出来るように、お湯が出る水道にしてほしい。 	<p>お昼寝用簡易ベッドの導入などにつきましては、保育士の意見も聞きながら、今後検討させていただきます。</p> <p>プール遊びにつきましては、水の感触を楽しむことが子どもの発達に大切なことであると考えているため、プールの設置方法等については、今後の設計の中で検討していきたいと考えています。</p> <p>周辺の道路や安全対策については、ご意見を参考にまちづくりを担当する課と検討していきたいと考えています。</p>
9	<p>公設公営を願います。</p> <p>「子どもの育ちを支える施設」とはじめに書かれていることや、父母からの公立園の要望の高さを見ても公的な施設を減らすことに不安を感じます。少子化で園児が減ると言われている現代ですが、公立園は 1 割流動をして保育士の配置に対して多めに入園を決めているのが現状です。</p> <p>新園が異年齢保育のためのモデル園となって、岩倉の保育がよりよい保育になっていくことを切に願います。</p>	<p>基本構想（案）の 19 ページにありますとおり、整備及び運営の手法につきましては公設公営を基本として進めていきます。</p> <p>ご意見にありますとおり、少子化は進んでおりますが、保育ニーズについては依然として多くなっていることから、官民協働で必要量の確保に努めていきます。</p>
10	<p>子育て支援課の皆様には、日頃よりよりよい保育・療育行政のために</p> <p>力を尽くしていただき有り難うございま</p>	<p>保護者用の駐車場については、アンケート意見等を踏まえながら、必要な台数が確保できるように進めていきま</p>

	<p>す。 HPにて統合保育園の概要を拝見しました。 以下、少し意見を述べさせていただきます。</p> <p>①200名近くの園児、利用者、職員がすごすことになる園舎・園庭なので相当な広さが必要と思われます。あゆみには感覚統合に必要な遊具等も設置される事でしょう。敷地内に駐車場が予定されていますが別の周辺敷地で確保するのがベストではないでしょうか。</p> <p>②砂場について 全天候型の広めの砂場、気持ちよく遊べる砂場を提案します。 以前に新聞記事で見たのですが、屋根付の水はけのよい砂場、雨の日でも暑さ寒さにさほど左右されない砂場です。土山も必要ですね。 手足や頭、体全体を使って思いきり遊べる土山は乳幼児に欠かせないものだと思います。</p> <p>③プールはどこに設置予定でしょうか。 2ヶ月間のプール遊びで子どもたちはグンと成長を見せてくれます。 楽しくあそぶ事で、今までできなかったことが出来るようになり、自信を膨らませていくプール遊びは必要不可欠だと考えています。</p>	<p>す。 砂場など建物の設備等につきましては、保護者や保育士の意見も聞きながら今後の設計の中で、検討していきたいと考えています。 プール遊びにつきましては、水の感触を楽しむことが子どもの発達に大切なことであると考えているため、プールの設置方法等については、今後の設計の中で検討していきたいと考えています。</p>
11	<p>公設公営で保育園を守ってください！</p>	<p>基本構想（案）の19ページにありますとおり、整備及び運営の手法につきましては公設公営を基本として進めていきます。</p>
12	<p>保育園父母のアンケート結果からも保育園に対する満足度も高いことが伺えました。施設、設備、安全面では、不安なことがあるとのこと。</p>	<p>基本構想（案）については、五条川小学校区統合保育園検討委員会や保護者及び保育士に対するアンケートなど、できるだけ多くの方のご意見をいただ</p>

	<p>アンケートの結果を統合園の建設の際には反映させていただきたいです。</p> <p>また、公設公営を望む意見も多く、公立で果たすべき役割もあると思うので、公立での運営を希望します。</p>	<p>きながら作成しました。</p> <p>基本構想（案）の19ページにありますとおり、整備及び運営の手法につきましては公設公営を基本として進めていきます。</p> <p>建物の詳細や設備につきましては、保護者や保育士の意見も聞きながら今後の設計の中で、検討していきたいと考えています。</p>
13	<p>いつも子ども達のためにご尽力頂きありがとうございます。</p> <p>●プールのお話が出ていみせんでしたが、新園舎にもプールはありますか？</p> <p>●駐車場部分の出入口は周りの道路や通学路等をしっかり把握して考えてほしい。</p> <p>●駐車場脇は用水路がありますが蓋をする等、何かしらの対策は考えてますか？</p>	<p>プール遊びにつきましては、水の感触を楽しむことが子どもの発達に大切なことであると考えているため、プールの設置方法等については、今後の設計の中で検討していきたいと考えています。</p> <p>周辺の道路や安全対策については、ご意見を参考にまちづくりを担当する課と検討していきたいと考えています。</p>
14	<p>公設公営を求めます。</p>	<p>基本構想（案）の19ページにありますとおり、整備及び運営の手法につきましては公設公営を基本として進めていきます。</p>
15	<p>ワークショップありがとうございました。</p> <p>現在、乳児保育を希望して下さる保護者さんが沢山おられます。また、民間園から公立園へと転園希望をだす保護者さんも沢山います。</p> <p>今後も公立保育園を求める保護者さんに応えるために、公設公営で保育園を作っていたら嬉しいです。</p> <p>また、今後具体的な設備などについて話し合いが重ねられると思いますが、実際に使っていく保育士の意見が取り入れられる機会を作って欲しいです。</p>	<p>基本構想（案）の19ページにありますとおり、整備及び運営の手法につきましては公設公営を基本として進めていきます。</p> <p>ご意見を参考にして、保育士の意見を聞く機会を設けるよう検討していきたいと考えています。</p>
16	<p>近くの井上児童遊園を起点とし、井上町、</p>	<p>周辺の道路や安全対策については、</p>

	<p>八劔町の班の小学生が通学路としています。</p> <p>保育園の正門前が通学ゾーンになっていて対策が必要と交通当番をしている地域の人の声がありました。保育園ができるのは歓迎だが、今迄以上に交通量が増え、事故が心配。</p> <p>朝の時間帯は AM7 時半～8 時半に交通量が増える。</p> <p>夕方の時間帯は PM5～6 時は、交通量が増える。</p> <p>保護者の方の駐車場確保がもう少し必要と思います。</p>	<p>ご意見を参考にまちづくりを担当する課と検討していきたいと考えています。</p> <p>保護者用の駐車場については、アンケート意見等を踏まえながら、必要な台数が確保できるように進めていきます。</p>
17	<p>「五条川小学校区統合保育園検討委員会」にも傍聴させていただきましたが、大変活発な意見交換がされていることに驚きました。統合保育園の建設に向けて、保育園関係者の方や多くの市民の声に耳を傾けて取り組みをすすめている岩倉市の姿勢がすばらしいと思いました。他市町ではなかなかないことだと思います。お疲れ様です。</p> <p>統合保育園の建設予定地付近の朝夕の交通ラッシュがとても心配です。小学校の通学の時間とも重なります。道路への制限なども必要。また、駐車場を予定より広くまたは複数確保することも必要かと思えます。</p> <p>五条川の近くでもあるので、万一のことを考え、盛り土を高くし、建物は2階建てが望ましいかと思えます。プールを2階にすれば庭が広く使えるようになるかと思ったりします。</p> <p>一番は保育士の配置基準の改善と給料アップ、臨時職員で対応せず正規職員の数の増加で、保育内容の質が保たれます。かつての岩倉の保育行政の恩恵にあずかった世代にとって、岩倉市がいつまでも自慢の保育</p>	<p>周辺の道路や安全対策については、ご意見を参考にまちづくりを担当する課と検討していきたいと考えています。</p> <p>保護者用の駐車場については、アンケート意見等を踏まえながら、必要な台数が確保できるように進めていきます。</p> <p>建物の詳細や設備につきましては、各種ハザードマップを参考にするほか、保護者や保育士の意見も聞きながら今後の設計の中で、検討していきたいと考えています。</p> <p>本市では、現在1歳児と4歳児で国の基準よりも充実した保育士を配置しており、今後も異年齢保育をはじめとする質の高い保育を維持、発展させていくために適切に保育士を配置していきます。</p>

	を続けてほしいです。	
18	公設公営でお願いします。	基本構想（案）の19ページにありますとおり、整備及び運営の手法につきましては公設公営を基本として進めていきます。
19	公設公営でお願いします。	基本構想（案）の19ページにありますとおり、整備及び運営の手法につきましては公設公営を基本として進めていきます。
20	<ul style="list-style-type: none"> ・プールの設置。屋上であれば、日差し対策を。 ・保育士の働きやすいように環境整備。休憩室、ロッカー完備。男性保育士にも対応を。 ・十分な駐車場の確保。園の規模を見ると敷地内だけの駐車場だけでは足りないように思う。近隣で保育園用の駐車場を借りるなどをして、対応を。 ・登園時間は交通量が多いので、登園・降園時間は一方通行で規制をするなど安全対策をできないか。（保護者だけでも） 	<p>プール遊びにつきましては、水の感触を楽しむことが子どもの発達に大切なことであると考えているため、プールの設置方法等については、今後の設計の中で検討していきたいと考えています。</p> <p>保護者用の駐車場については、アンケート意見等を踏まえながら、必要な台数が確保できるように進めていきます。</p> <p>周辺の道路や安全対策については、ご意見を参考にまちづくりを担当する課と検討していきたいと考えています。</p>



岩倉市五条川小学校区統合保育園基本構想

発 行 岩倉市

編 集 教育こども未来部子育て支援課

〒482-8686 愛知県岩倉市栄町一丁目 66 番地

電話 0587-38-5810（直通）0587-66-1111（代表）

ホームページ <http://www.city.iwakura.aichi.jp/>

発 行 年 月 令和5年2月